

65歳を超えたら考えて!

あなたの決断が

交通事故を減らす

5,524件。これは昨年、国内で65歳以上の高齢ドライバーが起こした交通事故の件数です。アクセルとブレーキの踏み間違えやハンドル操作の誤りなど、運転ミスによる事故が後を絶ちません。「私は元気だから関係ない。」「私は問題なく運転できている。」そう考えていた方が、実際に事故を起こしています。

今回は、加齢による身体の変化を知ると共に、運転免許を自主返納した方などの話から、自分が交通事故を起こさないための選択や決断について考えます。

問合せ:安全生活課(☎51・2303) ☎46296

高齢ドライバーによる交通事故の増加

全国の高齢ドライバーによる交通死亡事故の原因は、ハンドルやブレーキなどの操作誤りが最も多く、全体の約3割を占めています。市内でも増加傾向にあり、昨年も80代の男性がハンドル操作を誤り、ガードレールに衝突する事故がありました。



また、昨年1～8月に県内で発生した交通事故のうち、高齢ドライバーによる事故は全体の約2%だったのに対し、市内では約20%と10倍にも上ります。これは、生活する上での交通手段として、高齢者が車を手放せない環境にあることも要因の一つと考えられます。

加齢による身体の変化

加齢が進むにつれ、視野が狭くなるだけではなく、動体視力も低下します。そのため、歩行者の発見が遅れたり、前を走る車との距離感がつかめなくなったりします。また、足の筋力が低下して、ブレーキの操作が遅れる、首の柔軟性がなくなると、後方が確認しづらくなるなど、さまざまな変化が見られるようになります。

また、身体機能だけではなく、記憶力や反応速度といった認知機能の低下も表れ始めます。目的地を忘れてしまったり、急な飛び出しに反応ができなくなったりするなど、事故を起こす原因となる症状が出てくることもあります。警視庁が平成28年に実施した運転免許更新時の認知機能検査では、75歳以上の高齢者約166万人のうち、約5万人に認知機能の低下が見られました。

自分では問題なく運転できると思っている、知らず知らずのうちに、運転に影響を及ぼすような変化が身体には起きています。自分の状態を知るためには定期的なチェックを行い、安全な運転ができていくかを考える必要があります。

運転免許の
手放し時!?

運転危険度チェックリスト

以下の項目に3つ以上該当する方は、身体機能や認知機能の低下が予測されます。半年に1回を目安に確認し、該当する項目が増えた場合は家族や友人などに相談しましょう。

- 走行中に中央線を越えてしまう
- 駐車場の枠に合わせて停めるのが難しい
- 道路標識などの意味を思い出せないことがある
- 速度制限を守れない、一定の速度を維持できない
- 脇見運転をしてしまうなど注意力が低下した
- ブレーキやアクセルの操作を間違えることがある
- 給油や洗車など車の維持管理ができない
- 目的地を忘れてしまうことがある
- 歩行者や自転車などに気付きにくくなった
- 車間距離を維持できない

監修：高知大学医学部神経精神科医学教室 上村直人



豊橋警察署 交通課
近藤 之哉さん

市内で起きた交通事故のうち、高齢ドライバーによる事故は、年々増加しています。今年に入ってから、高齢ドライバーの車と正面衝突し、30代の方がけがをする事故が起きています。さらに、豊橋市は農業が盛んなため、高齢者が運転するトラクターなどによる交通死亡事故が県内で1番多いのが特徴です。仕事で運転をしなければならぬ、通院が不便など、さまざまな事情があると思いますが、ある日突然、自分自身が加害者になるかも知れません。「最近、急ブレーキが増えた。」などの小さな異変を感じたら、狭い道を避けたり、夜間や天気の良い日はバスやタクシーを利用したりすることから始めましょう。

交通事故は、いつ、誰に起きてもおかしくありません。多くの方が、「明日は我が身」と思って生活をすることで事故を減らすことができます。

自分事として捉えて



竹村 健蔵さん(82)
免許返納前は、買い物
など週に2～3回運転し
ていた。



自主返納を機に、
自転車を買いました！

自分で運転免許の返納を決断

「免許を返納してくる。」
今年の3月に迎えた免許更新の
直前、竹村さんは自主返納の意志
を家族に伝えました。運転免許を
取ってから61年、一度も事故を起
したことはない竹村さんが自主返
納を考えていたことに、家族は驚き
を隠せませんでした。3年前の免
許更新時の検査で視力の低下を感
じた竹村さんは、運転する際に眼
鏡をかけるようになりました。身
体の変化を実感し、次回の免許更
新はしないほうがいいかもしれない
と考え、免許の自主返納を決断し
たのです。
返納してからは、車を使っていた



自主返納をすると運
転経歴証明書が貰
え、本人確認書類
としても使えます！

**私たちは、運転免許の
自主返納を決断しました。**

買い物などを、30分程度の距離であ
れば自転車を使っています。体を動
かすことが気持ち良いと感じるよう
になり、少しでも時間があれば、近
所を散歩したり、自転車で公園に行
つたりするようになったと言います。
「車に乗っていると気付くことが
できない、植物の匂いや気温の変化
を感じるようになりました。」
季節が移り変わるようすを毎日
楽しみにしている竹村さん。車の移
動では味わえない楽しみ方を教えて
くれました。



大久保 富貴子さん(84)
免許返納前は、習い事
などに通うため、毎日
運転していた。



自主返納を機に、歩く
機会が増えました！

車がなくても生活できる

昨年、運転免許を自主返納した
大久保さん。きっかけは、高齢ドラ
イバーが起こした交通事故のニュー
スを見た息子からの言葉でした。
「誰かを傷つけてからでは遅い
よ。免許の返納を考えてほしい。」
多趣味で絵手紙や書道、俳句な
ど5つの習い事をしている大久保
さんの移動手段は車。それを奪わ
れてしまうとどこにも行けなくな
る不安にかられ、初めは怒りを感じ

じたと言います。90歳まで運転で
きると思っていました。家族に
心配や迷惑を掛けたくないという
気持ちもあり、自主返納を決断し
ました。
免許を返納した今でも、バスや
電車を使って習い事に通っている
大久保さん。出発に間に合うよう、
時間にゆとりを持って生活をする
ようになったと言います。
「旅行の時は、どこで乗り換え
るかなど、事前に考えるようにな
ったので、計画を立てる時間も楽
しんでいます。」

自主返納をすると、交通助
成券などが貰えますよ！



私は、安全装置を備えた車を選択し、購入を決断しました。

中村 美恵さん(56)
仕事や孫の送り迎えなどで毎日、運転している。



将来を考えた早めの決断

鉢花農家に嫁いで35年の中村さん。仕事で車に乗るほか、保育園に通う孫の送迎や買い物にも車を使っています。

「今は運転免許を手放すことは考えられません。でも、高齢ドライバーによる交通事故のニュースを見るたび、いつか自分もそうなるかもしれないと、他人事には思

えませんでした。」

危機感を持った中村さんは2年前に全方位確認モニターや前の車に近づき過ぎると音で知らせるセンサー、自動でブレーキがかかる安全装置を備えた車に買い替えました。周りには「まだ必要ない。」と言われましたが、将来を考えると早めに備える必要があったと、中村さんは振り返ります。

「事故をしてからでは遅いですし、孫を乗せる責任もあります。これから10年、この車を乗り続けることを考えたら、決して早くないと思いました。」

乗り始めてみると、運転補助装置のおかげで、左寄りに運転する癖があることに気付いた中村さんが高まったと語ってくれました。



運転免許を自主返納した方に
交通助成券などを配布します

タクシー料金補助券5,000円分、交通助成券5,000円分、元気パス購入助成券9,000円分のいずれかを配布します。

対象 市内在住の70歳以上で、令和元年10/1(火)以降に運転免許を自主返納した方(返納後、1年以内に限る)

その他 返納場所など詳細はホームページ参照

申請 返納後、申請書などを安全生活課(☎51・2550) ※申請書などは安全生活課、豊橋警察署、ホームページほかで配布

☎70188



踏み間違え時に急発進を抑制する
装置などの後付け費用を補助します

対象 市内在住で市税など滞納のない65歳以上の方
補助額 対象経費の5分の4(衝突防止補助装置は3分の2。上限あり。1人1台まで)

その他 4/1(水)以降に自家用車に付けた装置に限る。対象となる装置など詳細はホームページ参照

申請 装置の購入後、申請書などを安全生活課(☎51・2550) ※申請書は安全生活課、ホームページで配布

☎70189

安全装置が装着された車の購入費や急発進を抑制する装置の後付け費用は、国の補助金が活用されます!

安全生活課
兵藤 収

